

会員 一口スピーチ紹介

前回に引き続き、2名の会員のスピーチをご紹介します

— 寺腰 —

石井知事について



私は今年還暦を迎え、総入れ歯で3人の孫のお祖父ちゃんである。会社では、売上が悪いと専務よりお叱りを受け、やめる等の罵声を浴び、

部下一同共々、其の日は、桜木町同時多発テロとなる次第である。

富山県知事とは高校の同級生で、古いお付き合いであり、自治省に勤務をしていたときから本人が帰省をすれば飲む機会が多々あった。自治省時代は、分権の次長を経て、消防庁の長官に上り詰めたが、地方の為、富山県の為に働きたいと、昨年同省を退職し、知事選に立候補し当選したものである。



知事の仕事で最近、さすがと思ったことがある。新聞紙上を賑わしていた、上海便のことである。県議団はこの就航に疑問符を付けていたようだが、知事は中央官僚への根拠と、中国政府の本質を見抜いて、上海に飛び、成功させたのである。

中国政府は自国にとって何がベストかが最優先事項であり、其の本質は独裁的な自民党的体質であると喝破していたのである。

知事のスタンスは、政治はつまるところ、人の幸せにあり、文化的に香り高い生活を目指すことである。また県の経費節減に取り組み400億の赤字を240億に減らした。そして、指定管理者制度の導入を行う反面、学芸部門は県直轄とするという、柔軟な政策を取り進めている。

また、知事の奥様は、有名な数学者であり、数学のノーベル賞とも言うべき賞もっているが、その奥様が遠く九州の大学へ就職をなさろうとしたとき、奥様のためならと快く許し、本人は日本一忙しい官僚の一人なのに、単身東京に残り不自由さや寂しさに耐えた生活を送ったこともあり、とても家族思いの心優しい人でもある。



— 島田 秀雄 —

身長×身長×22とは何ぞや



私が東京に単身赴任していた頃、ある日、突然腹痛が起き我慢に我慢を重ねたがどうにも出来なくて病院にいった。腸閉塞の疑いもあり、4

日入院をしたが結局分からなく、富山に帰り、同じような症状があつて初めて糖尿病と分かった。

糖尿病自体は大した病気ではないが、合併症を併発して、とても恐ろしい病気となり、網膜剥離症とか、神経障害等に進展することもあり、やがては、死に結びつく可能性のある病気の一つである。また、この病気は血糖値が高いと合併症を併発しやすく、低いと意識不明に陥りやすく厄介な病気である。治療法は、薬物療法、食事制限、植物摂取の3通りがある。いずれにしても、毎日のカロリーを20単位(1単位80キロカロリー)1,600キロカロリー位に制限しなくてはならない。

食事としての、食品の分類としては、色々あるが、特に蛋白質については、動物と食物があり、動物には弊害が多い。海藻類やきのこはノンカロリーである。調味料やアルコール類にもカロリーが結構ある。特にアルコール類は毒を飲んで



いるのと同じである。糖尿病には食べていけないものはない。3度の食事をきっちりと食べることが大切で、欠食すると低血糖になり非常に危険である。体重を落とすことは食事だけで落とすことは出来るが、維持が難しい。



理想の体重は身長×身長×22と言われていた。マラソンの野口選手は、1m50センチで体重が40キロである。公式に当てはめると本来は49.5キロが理想だが極端に体重が軽いのが毎日の練習があるから、それはそれでいいのであろう。私は身長1m74センチで体重は66キロ前後である。理想に近い体重である。これからもこれを維持し健康に留意し元気に毎日を過ごしたい。

富士山から日本を変える 松川から富山を変える？

10月22日(土) 富山ちゅうりっぷ LC の CN10 周年記念講演で、アルビニスト 野口健さんの講演をきいた。情けないことに、名前だけ知っている程度の知識だったので、HP で調べてみると当クラブと同じ取り組みをされていることを知り、期待に胸を膨らませて聴きに行った。

そして先日、出張で東京に居た時に TV をつけてみると、「みた事あるけど？誰だっけ？」と・・・偶然にも先日の記念講演の野口健さんが出演していたのだ。ダウンタウンの浜ちゃんが司会を務めている スポーツという番組だった為に気付かなかった。

TV 番組の内容は、講演会のポイントのみを話していたようだった(全部は見えていないので)。時間も限られている中、他の話題もあり、富士山・エベレスト・樹海の清掃活動の内容で、樹海のゴミ拾いをしていて、アスベストが捨てられているのだという。「この白い綿、何だろう？」と清掃活動 3 日目にしてスタッフから教えられたらし

いのだが、なんととても危ない、ゴミの国、日本。

あれれ？話が脱線してしまった・・・。TV 番組の内容はさておき、大事なのは講演会の内容。トークが本当に軽快で楽しい! あっという間に90分の時間が過ぎていた。

私は登山については未経験者。ただ、登山といえは「ゴミが出る」「山の雪が融けたらゴミばかり」というのはよく耳に入る話。そして、世界の山、エベレストの多くのゴミは『ひらがな・カタカナ・漢字の落し物』だったと野口さん。そして、世界中の登山家から「日本人は経済は一流、マナー・文化は三流」「エベレストを富士にしないで」といわれ、この時のこの言葉が耳に残っていると。

そして、ご本人曰く、弾みで「ゴミ拾い=清掃活動」を始められたそうだが、弾みで富士山・エベレストの登山清掃活動を始め、様々な環境問題への活動に取組める訳が無い。ただ、何度も「弾みで」と話されていたので本当なのかも？きっかけ

山いきいき 報告

ちょこっと

不定期便

はどうであれ、現在取組まれている活動は大規模な環境問題への取組であることには間違い無い。

当クラブも、「ゴミ拾い=清掃活動」に取組んでいる。規模の違いはあるだろうけど内容としては同じ。アクティビティに参加していることが嬉しくなってきた。「富士山から日本を変える!」が野口健さんの講演会のテーマであった。CN10 周年記念会でも出てきたが「松川から富山を変える!」ちょっと言い過ぎ? だが、思いは大きく持っていようと。

当クラブに入会してから清掃活動にはなるべく参加しているが、きれいになって嫌な思いになる事は無く、本当に心地よい気持ちになる。大きな事は言えないが、環境の大切さを訴えられるようなメッセージを、当クラブから、そして自分自身から発信できればと、そして今後も松川清掃活動や他の活動に積極的に参加しようと思った。

